タイ・バンコクで中央日本の魅力を発信！

JNTO 主催「第 18 回 Visit Japan FIT Fair」に出展

当機構は、2026 年 10 月 16 日（金）～18 日（日）の 3 日間、タイ・バンコクのサイアム・パラゴンで開催された日本政府観光局（JNTO）主催「第 18 回 Visit Japan FIT Fair」に出展し、中央日本エリアの認知度向上と訪日旅行者の誘客・広域周遊促進に向けたプロモーションを実施しました。

今回は、JR 東海、中部国際空港、富山県、石川県と連携して出展。名古屋をゲートウェイに、富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀の 9 県に広がる多彩な観光資源や、地域をつなぐ周遊旅行の魅力を積極的に発信しました。来場者との対話では、自然景観や歴史・文化、食、温泉など、それぞれの地域ならではの魅力を紹介し、具体的な旅行ルートや滞在の楽しみ方を提案しました。

会場には 3 日間で約 52,000 人が来場し、約 13,600 人が訪日旅行商品を購入。購入総額は約 1 億 2,610 万タイバーツ（約 5 億 9,200 万円）に達しました。また、来場者の約 97%がフェアを通じて訪日意欲が高まったと回答しており、タイ市場における日本旅行への関心の高さが改めて示されました。

さらに、当機構ブースの来場者アンケート（555 件）からは、回答者の約 8 割が個人手配旅行（FIT）、約 88%が訪日経験者であり、5 回以上の訪日経験を持つリピーターも約半数を占めることが分かりました。中央日本への来訪意向も、ブース訪問後には 97%に達し、自然景観を筆頭に、日本食、歴史・文化、温泉などへの期待が高い結果となりました。過去 3 年間の調査を振り返っても、中央日本を「知らない」とする回答は 25%から 7%へ減少。地域の認知から興味・関心、そして「実際に訪れてみたい」という意欲へ、着実な変化が見られます。

一方、旅行費用や現地交通に関する情報不足など、関心を実際の訪問につなげるための課題も明らかになりました。現地旅行会社との商談では、2 班に分かれて具体的な旅行商品造成に向けた協議を行い、今後の継続的な商品取り扱いに向けた関係構築を進めました。

「中央日本を知ってもらう」から「中央日本を選んでもらい、9 県を周遊してもらう」へ。
今回の出展で得られた手応えと課題を次の取り組みに生かし、関係機関・事業者と

の連携を一層強化しながら、タイ市場から中央日本への誘客と滞在・周遊の拡大に向けて取り組んでまいります。

（現地の様子）



